

2016年1月10日

中国企業の対外投資動向について

愛知県上海産業情報センター
安田 龍

1 2014年における中国企業の対外投資動向

中国の商務部、国家統計局、国家外貨管理局が合同で2015年9月に発表した「2014年度中国対外直接投資統計公報」によると、2014年の中国の対外直接投資額は1,231.2億米ドルであり、2013年の1,078.4億米ドルと比べて14.2%増、2012年の878.3億円と比べて40.2%増となっており、世界の対外直接投資額ランキングでも第3位となっています。中国の対外直接投資額は、2002年の統計開始以来、一貫して増加が続いており、2002年と比較すると45.6倍、2002年から2014年の年平均増加率は37.5%となっています。

2014年末時点の中国の対外直接投資累計額は、8,826.4億米ドルであり、2013年と比べて2,221.6億米ドル増加しています。世界の対外投資累計額に占める中国の割合は、2002年末時点では0.4%でしたが、2014年末時点では3.4%まで上昇し、対外直接投資累計額ランキングでは2013年の第11位から8位となり、初めて上位10位に入りました。また、中国の18,500の投資主体が、全世界の79.8%にあたる186ヶ国・地域で約30,000の国外企業を設立しています。

2014年末時点で中国の対外直接投資は幅広い業界に及んでいますが、直接投資額、直接投資累計額ともに第3次産業が70%以上を占めています。また、直接投資累計額が1,000億米ドル以上の業界であるリース・ビジネスサービス業、金融業、鉱業、卸・小売業の4業種で6,867.5億米ドルとなり、中国の対外直接投資累計額の77.8%を占めています。

2 対日投資セミナーの開催

中国からの対外直接投資が増加している状況下において、日本への投資を促進するため、12月1日に江蘇省蘇州市内のホテルにおいて、日本貿易振興機構上海代表処、中国国際貿易促進委員会江蘇省分会、中国国際貿易促進委員会蘇州市委員会主催による対日投資セミナーが開催されました。

このセミナーでは、冒頭で中国国際貿易促進委員会江蘇省分会の王顯東常務副会長からの挨拶の後、日本貿易促進機構上海代表処の小栗道明所長から日本の投資環境や誘致政策について紹介が行われました。

次に、愛知県上海産業情報センターから愛知県の歴史や文化、自動車や航空宇宙、研究開発等の産業、投資環境や支援施策等について紹介し、「日本のものづくりの中心・愛知」のPRを行いました。

その後、既に日本市場へ進出している蘇州蝸牛数字科技股份有限公司と蘇州暢途網絡科技有限公司の2社から日本市場への投資のねらいや市場の魅力について紹介が行われました。

セミナー終了後には、出席者との名刺交換が行われ、愛知県が東京と大阪の間にあることを初めて知ったが、交通の便が非常に良いことが分かり、是非一度視察に行きたいと積極的な意見も聞くことができました。



【愛知県プレゼンの様子】



【投資セミナー会場の様子】

上海産業情報センターでは、今後も中国の対外投資動向について、情報提供していきたいと思っております。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。
上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。
本情報の採否は読者の判断で行ってください。
また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。